

地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

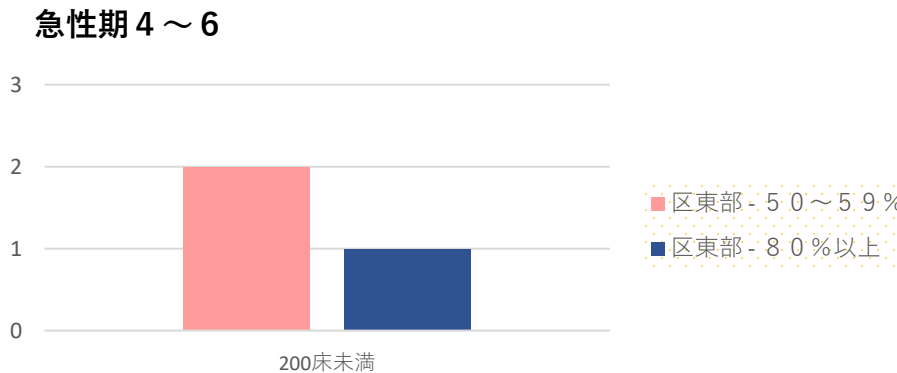
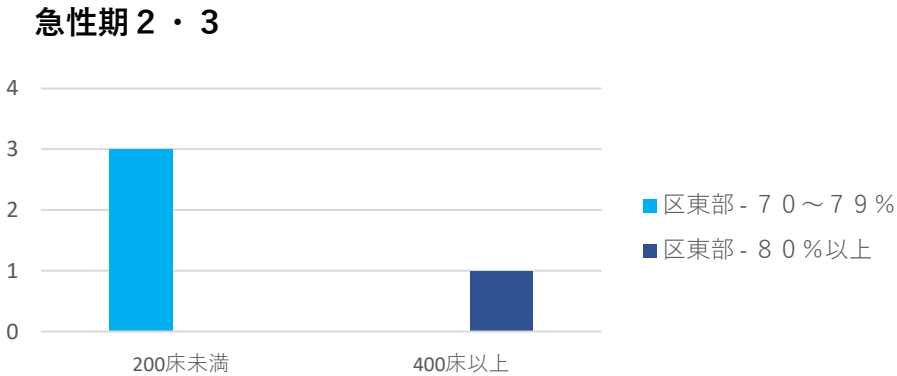
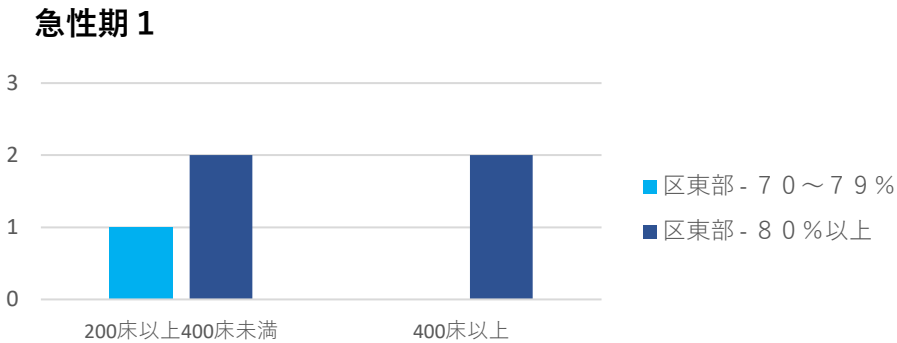
東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの結果（区東部）

病院としての主な機能別の回答状況	
病院としての主な機能	病院数
高度急性期	2
急性期/サブアキュート	9
回復期/ポストアキュート	3
慢性期	1
ケアミックス（急性期・回復期）	1
ケアミックス（回復期・慢性期）	0
その他	1
計	17

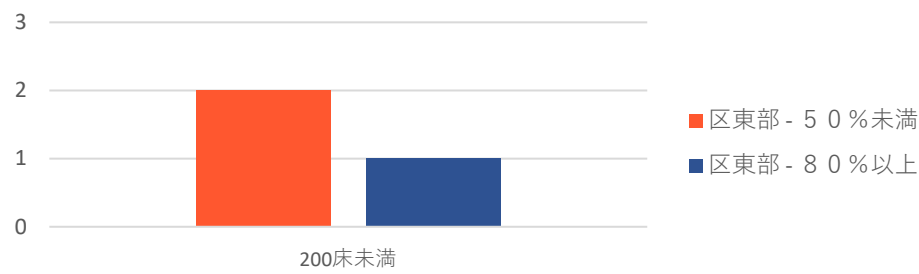
許可病床数別回答病院数	
許可病床数	病院数
200床未満	11
200床以上400床未満	3
400床以上	3
計	17

■ 病床機能別稼働率【許可病床の規模別】

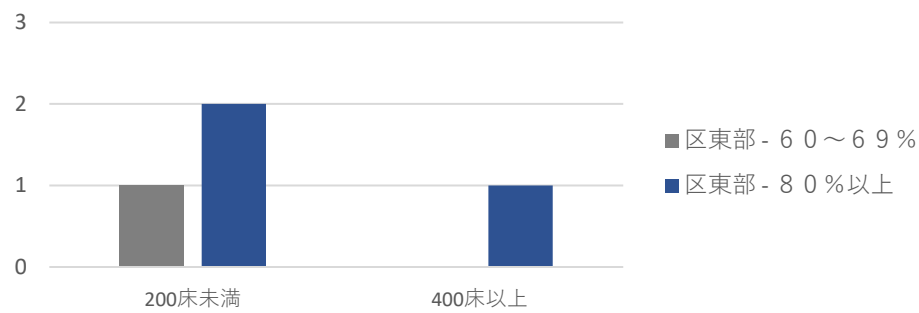


事前アンケートの結果（区東部）

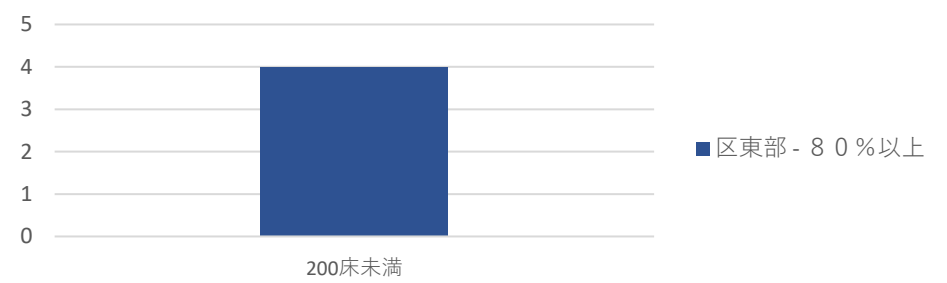
地域一般 1 ～ 3



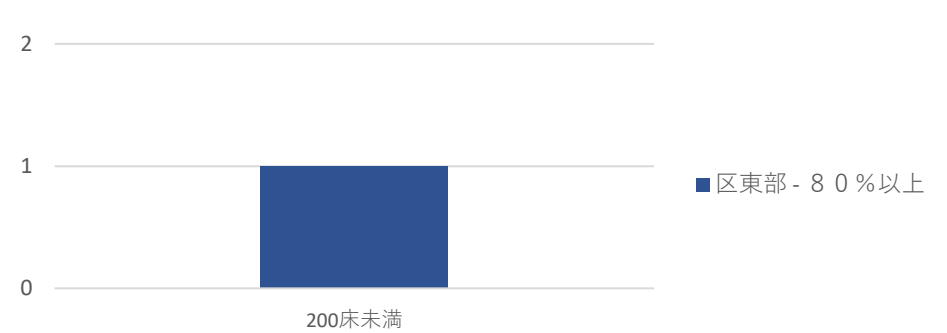
地域包括医療



地域包括ケア 1 ・ 2



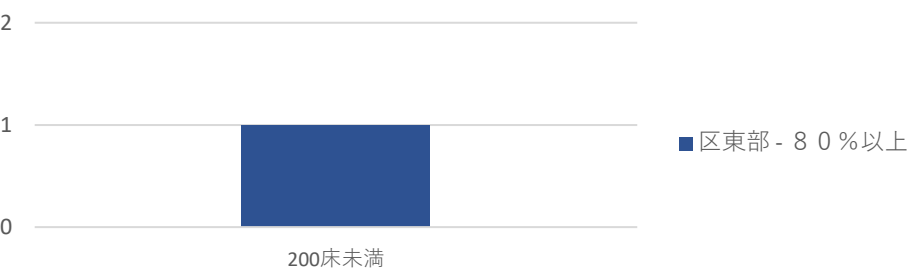
地域包括ケア 3



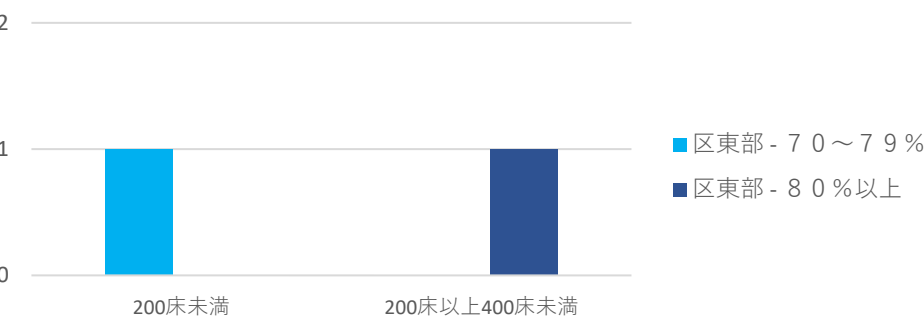
地域包括ケア（療養病床）

事前アンケートの結果（区東部）

回復期リハ1・2

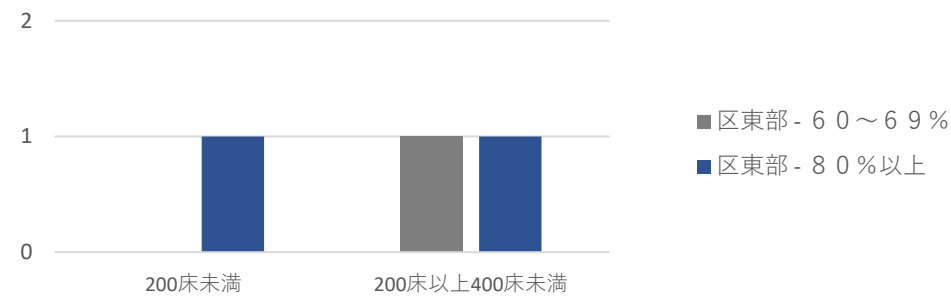


回復期リハ3・4



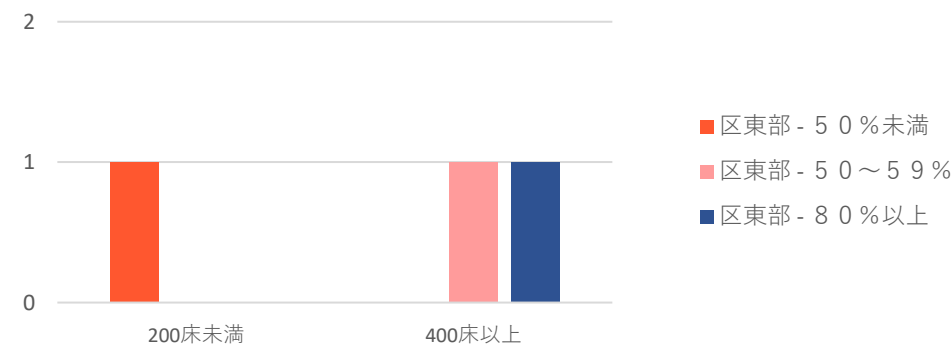
回復期リハ5

療養病床



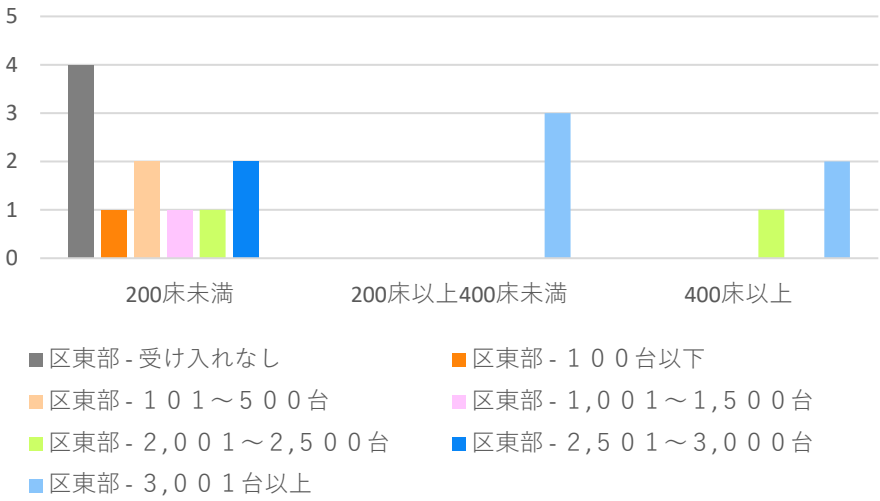
介護医療院

その他（精神病床、障害者施設等病床）



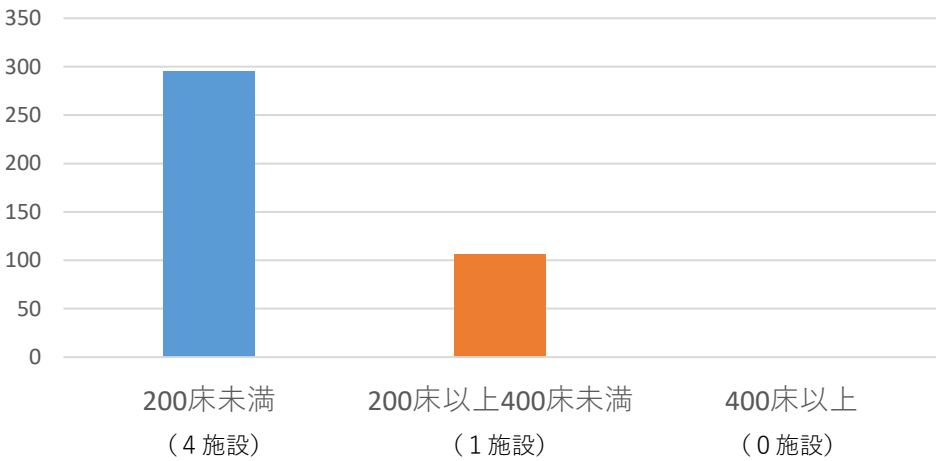
事前アンケートの結果（区東部）

■ 令和5年度救急車受入台数

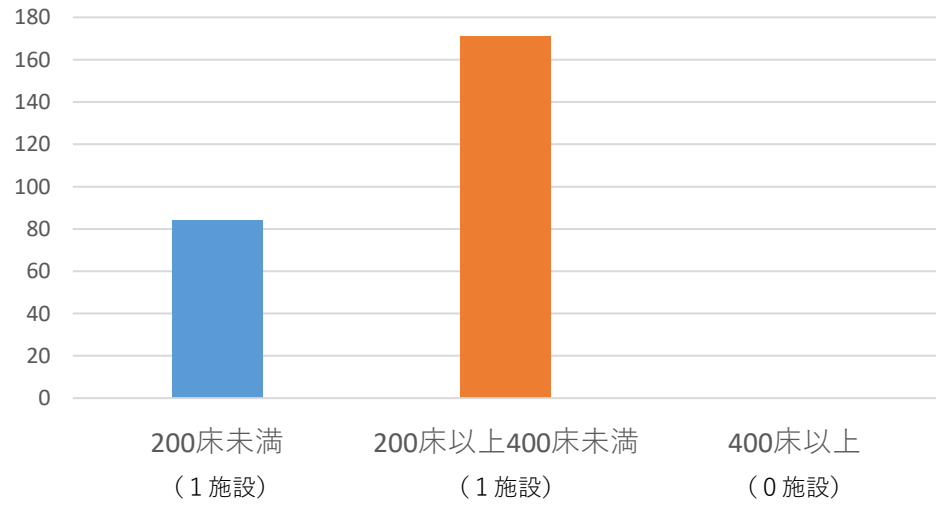


■ 令和5年度地域連携入退院患者数

転院上り（人／年）（合計）



転院下り（人／年）（合計）



事前アンケートの結果（区東部）

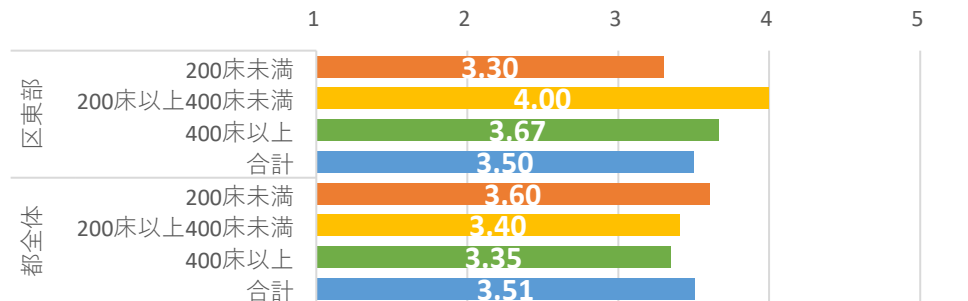
■ 連携等に関する影響について

《緊急搬送・予定転院》

平日・日昼の緊急搬送において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない)

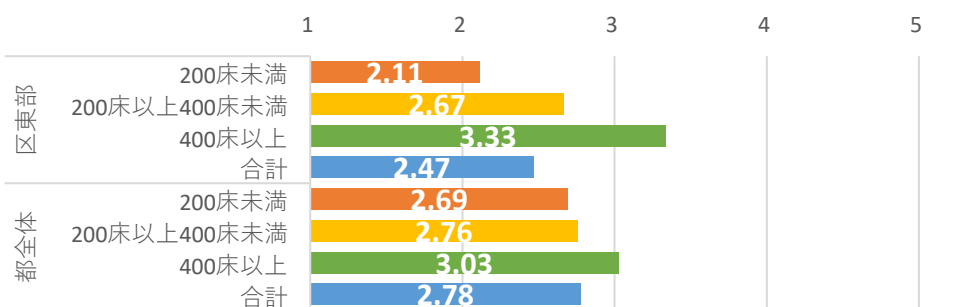
(すごく思う)



休日・夜間の緊急搬送は相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない)

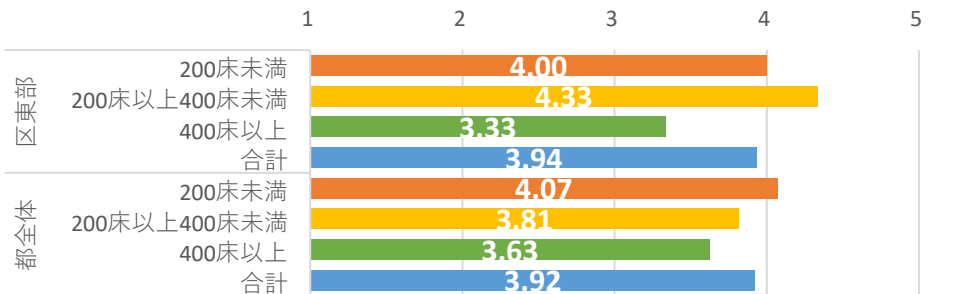
(すごく思う)



予定転院において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない)

(すごく思う)

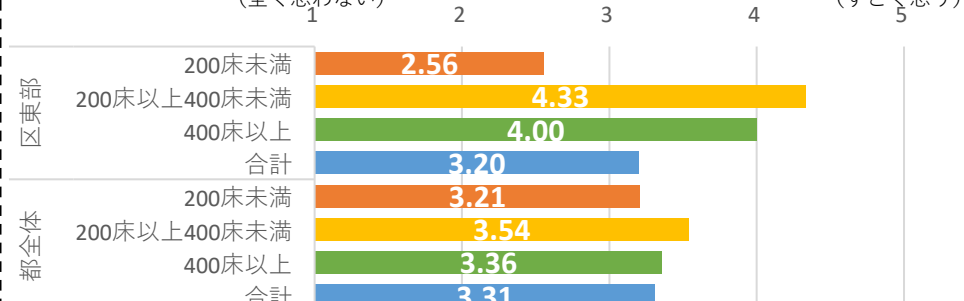


《受入側としての要望》

早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、診療科を絞れば受け入れは可能と思いますか。

(全く思わない)

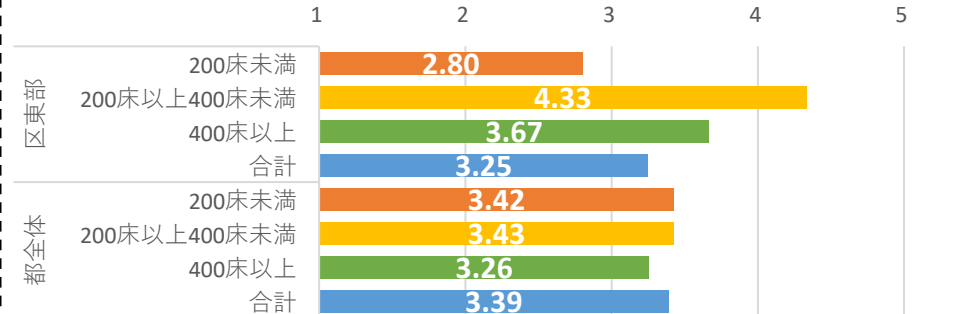
(すごく思う)



早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、患者の重症度を限定すれば受け入れは可能と思いますか。

(全く思わない)

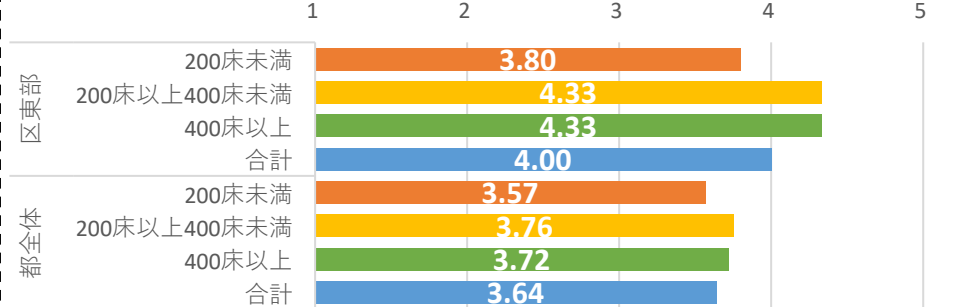
(すごく思う)



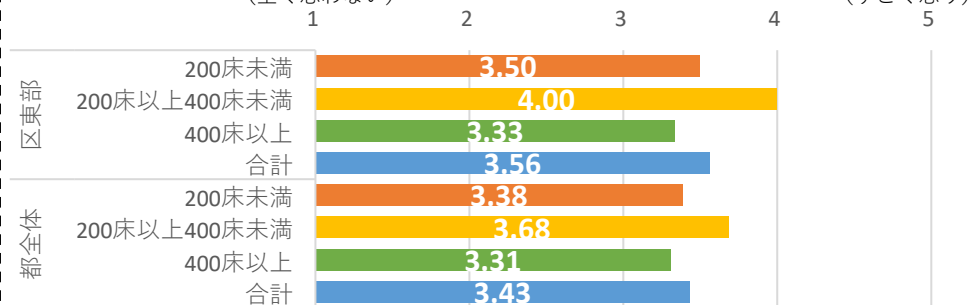
事前アンケートの結果（区東部）

《自院の課題》

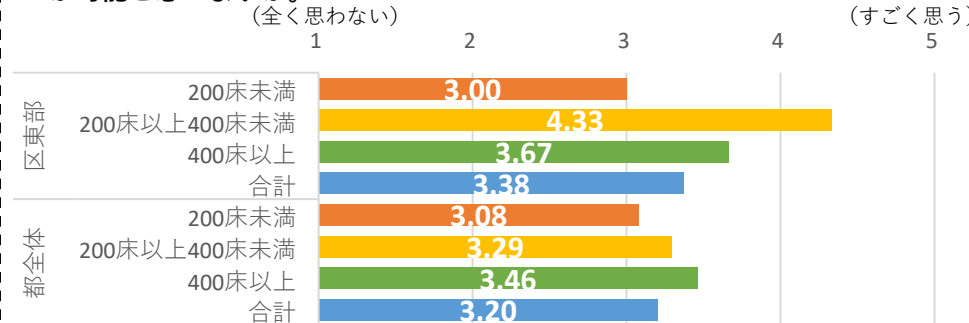
自院の医師が潤沢であれば、積極的に受け入れすることが可能だと思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 5 (すごく思う)



自院の医師以外の職員が潤沢であれば、積極的に受け入れすることが可能だと思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 5 (すごく思う)

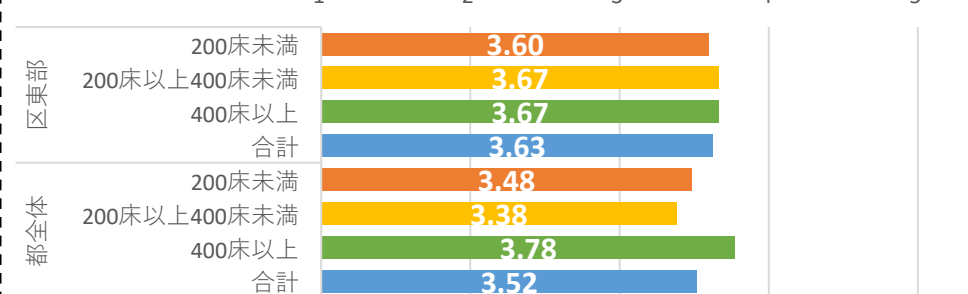


自院のベッドコントロールが改善されれば、積極的に受け入れすることが可能だと思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 5 (すごく思う)

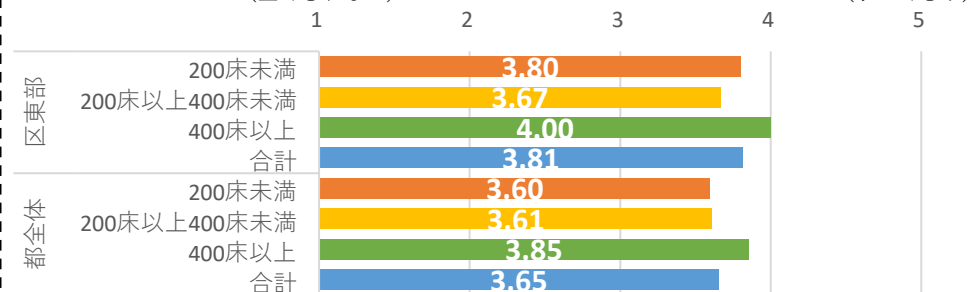


《患者側の課題》

患者側の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能だと思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 5 (すごく思う)



患者家族の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能だと思いますか。
(全く思わない) 1 2 3 4 5 (すごく思う)



事前アンケートの結果（区東部）

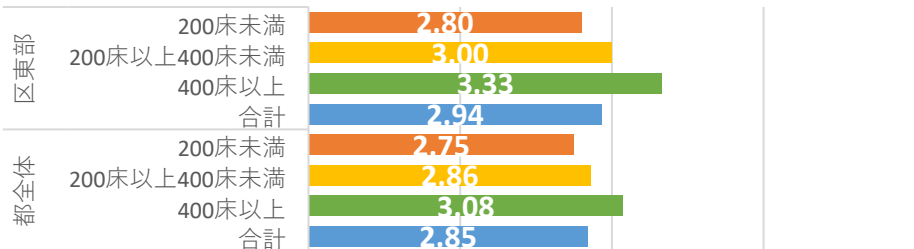
《下り転院の問題（主に急性期病院が回答）》

過去に病状が落ち着いたことで転院した患者が、悪化等で再び自院に戻ることがありますか。

(全くない)

(すごくある)

1 2 3 4 5

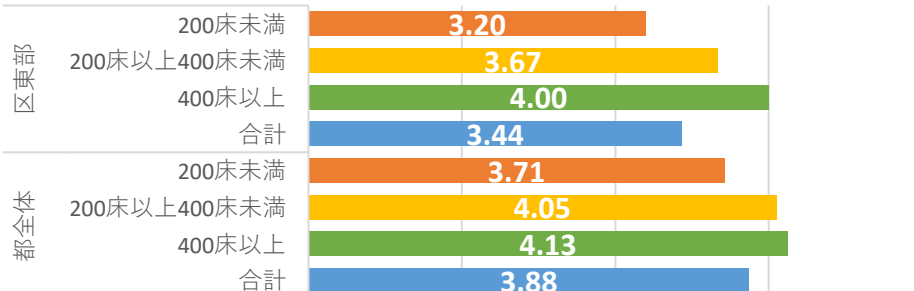


過去に様々な病気を抱えた（複雑な）患者を転院させるにあたり、転院先がなかなか決まらないことがありましたか。

(全くない)

(すごくある)

1 2 3 4 5



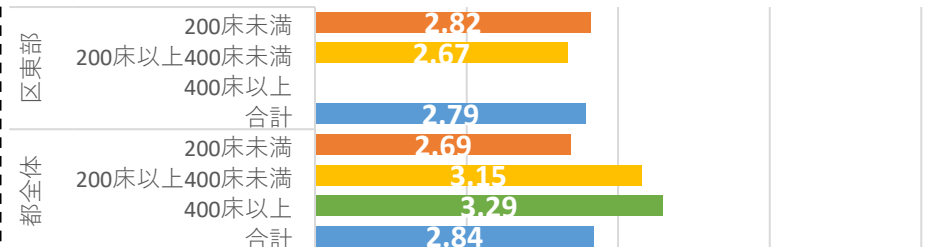
《下り転院の問題（主に回復期・慢性期病院が回答）》

過去に病状が落ち着いたことで転院された患者が、悪化等で再び前医に再入院されたことがありますか。

(全くない)

(すごくある)

1 2 3 4 5

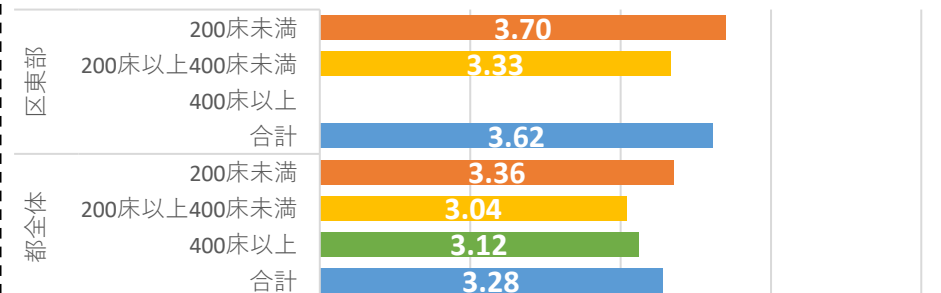


過去に急性期病院から様々な病気を抱えた（複雑な）患者の転院依頼があった際に、お断りしたことはありますか。

(全くない)

(すごくある)

1 2 3 4 5



事前アンケートの結果（区東部）

《連携の進捗度》

平成28年の地域医療構想策定当初と比べて、全体的に地域での連携が進んだと思いますか。

(全く思わない)

1

2

3

4

(すごく思う)

5



■連携等に関する影響への対応

自院や地域として対応している取組

- ・患者地域支援センター（地域連携部門）を中心に地域の病院に連携訪問を行い、下り搬送についての共有を行っています。
- ・顔の見える関係づくりに取り組んでいます。
- ・療養病床の為緊急搬送は行なわれておりません
- ・活発な地域との連携を行政を含め進めていきたい
- ・病院救急車で搬送を行う等、スムーズな転院や受入が可能になるように取り組んでいる。
- ・地域の医療機関との連携会議や研修会への参加。
- ・医師会主催の「顔の見える病診連携の会」へ参加し各医療機関の紹介などを行っている。
- ・地域のゲートキーパーとしてなるだけ救急車・救急患者を受け入れて、検査・初療を実施し専門加療が必要であれば上位医療機関へ転送を実施しています。できるだけ三次救急・救急救命センターが軽症者で埋まらないようにしています。
- ・消防署および医師会等で構成する区内の救急連絡会に参加し、救急患者の受け入れ強化について意見交換を行っている。医療圏内で開催する地域連携会議などに参加し情報収取ならびに意見交換を行っている。講演会の開催や診療情報を提供するための資料配布を行い近隣の開業医、かかりつけ医との医療連携の強化を図っている。

事前アンケートの主な意見（区東部）

■ 自院や地域として対応していくべき取組の考えやイメージ

- ・患者地域支援センター（地域連携部門）を中心に地域の病院に連携訪問を行い、地域のネットワークを構築することで、治療中の方も重症度が下がった場合は転院搬送して継続治療を相手先病院で行ってもらう。また、双方向のネットワークを構築することでスムーズな患者さんのやり取りを病院間で行うことができると考えています。
- ・可能な限りDrとの連携を行い、受け入れていく
- ・墨田区の急性期病院として近隣からの依頼を極力断らないことを目標としている。
- ・各施設の地域連携室との連携強化
- ・地域柄もあるのかもしれないが高齢者の救急入院が増加していると感じる。また高齢者だけでなく社会的要因での緊急入院、介護未申請の高齢者が転倒や食思不振での入院等があり 医療機関だけの連携でなく、地域包括支援センターや各居宅事業所、介護施設とも連携して救急医療を進めていかないといけない
- ・上記問56の取り組み（前問回答のうち9番目）の継続および対象施設拡大を検討

■ 地域連携の推進についての意見

- ・地域医療をしっかりと完遂する姿勢を明らかにして、ネットワークの構築をしていく必要があります。医療DXを上手く利用しながら、理念の共有が大切と考えています。
- ・地域連携室の人的、物的充実を推進してほしい
- ・地域連携の推進にはまず、それぞれの規模や医師数、取得加算や手術数等で病院の役割を地域医療構想調整会議で決めていく必要があると考えます。高度急性期、急性期、回復期、慢性期の役割を明確に分けて各病院に割り振った先に地域連携が可能になると考えています。
- ・前述もしましたし、みなさん言われていることですが、この超高齢化社会において 医療機関同士の連携はもちろん、地域とも密に連携を取らなければ地域連携・退院調整が進まなくなってしまう現状を現場レベルで実感しております
- ・連携施設間での患者の円滑な移送を行うため、対面で情報共有を行う会議などを定期的に行うことを提案する